

2019年度首都圏 公立高校入試変更点速報 (2018年9月 現在)

学校名	変更点
東京都	
東京都立青井	文化・スポーツ等特別推薦：新設・サッカー男子3名、一般入試：分割後期の集団面接300点→個人面接300点
東京都立飛鳥	一般入試：傾斜配点英語1.2倍→取りやめ
東京都立足立新田	男女別定員緩和実施
東京都立足立西	文化・スポーツ等特別推薦：吹奏楽新設男女2名
東京都立足立東	文化・スポーツ等特別推薦：地域貢献新設男女2名
東京都立板橋	文化・スポーツ等特別推薦：硬式野球男子2名→4名、陸上競技男女4名→6名
東京都立江戸川	男女別定員緩和実施
東京都立青梅総合	文化・スポーツ等特別推薦：バスケットボール女子5名→4名、バレーボール女子2名→3名、陸上競技男女6名→4名
東京都立大崎	男女別定員緩和実施
東京都立大森	男女別定員緩和中止
東京都立大山	男女別定員緩和中止
東京都立小川	推薦入試：集団討論・個人面接300点→250点、作文200点→250点
東京都立葛西南	男女別定員緩和実施
東京都立葛飾野	男女別定員緩和中止
東京都立北園	推薦入試：集団討論・個人面接250点→200点、作文250点→小論文300点
東京都立清瀬	推薦入試：調査書500点→450点、集団討論・個人面接250点→220点、小論文250点→230点、文化・スポーツ等特別推薦：バレーボール女子2名廃止、バスケットボール新設女子2名
東京都立小岩	男女別定員緩和実施
東京都立小平	文化・スポーツ等特別推薦：硬式野球男子3名→2名、バスケットボール新設女子1名
東京都立小平西	文化・スポーツ等特別推薦：吹奏楽男女2名→4名、硬式野球男子5名→6名、ソフトボール女子5名→7名
東京都立篠崎	文化・スポーツ等特別推薦：硬式野球男子4名→5名、一般入試：分割後期取りやめ
東京都立杉並	男女別定員緩和実施、文化・スポーツ等特別推薦：バスケットボール男子2名→3名
東京都立多摩	推薦入試：個人面接のはじめに2分間の自己PR→とりやめ
東京都立千歳丘	文化・スポーツ等特別推薦：合唱男女2名→3名
東京都立田園調布	男女別定員緩和実施
東京都立豊島	文化・スポーツ等特別推薦：バスケットボール女子2名→男子2名女子2名(男子新設)
東京都立永山	男女別定員緩和実施
東京都立日本橋	文化・スポーツ等特別推薦：廃止(ボート男女2名)
東京都立練馬	文化・スポーツ等特別推薦：剣道男子2名女子1名→男女2名、バスケットボール男子2名女子2名→男子3名女子2名
東京都立拝島	男女別定員緩和中止
東京都立羽村	文化・スポーツ等特別推薦：剣道男女4名廃止

学校名	変更点
東京都立東	文化・スポーツ等特別推薦：新設・サッカー男子2名、ラグビー男子2名
東京都立福生	文化・スポーツ等特別推薦：硬式野球男子5名→4名、サッカー男子5名→4名
東京都立府中	文化・スポーツ等特別推薦：地学男女2名廃止
東京都立文京	文化・スポーツ等特別推薦：バスケットボール男子2名女子2名→男子3名女子3名、バレーボール女子2名→3名
東京都立松原	文化・スポーツ等特別推薦：バスケットボール新設女子2名
東京都立南葛飾	男女別定員緩和中止
東京都立武蔵村山	男女別定員緩和中止、文化・スポーツ等特別推薦：ソフトテニス女子2名→3名、バレーボール女子3名→2名
東京都立紅葉川	文化・スポーツ等特別推薦：新設・硬式野球男子2名、陸上競技男女2名
東京都立八潮	男女別定員緩和中止、文化・スポーツ等特別推薦：合唱男女5名→3名
東京都立若葉総合	文化・スポーツ等特別推薦：バスケットボール男子4名→2名、剣道男女4名廃止
東京都立荒川工業	文化・スポーツ等特別推薦：廃止（珠算男女2名、硬式野球男子6名、サッカー男子5名）
東京都立杉並工業	文化・スポーツ等特別推薦：硬式野球新設男子5名
東京都立総合工科	文化・スポーツ等特別推薦：ロボット男女5名廃止
東京都立田無工業	文化・スポーツ等特別推薦：硬式野球男子3名→5名
東京都立多摩工業	(デュアルシステムを除く)文化・スポーツ等特別推薦：男子4名→5名
東京都立橘	文化・スポーツ等特別推薦：バスケットボール男女4名廃止
神奈川県	
神奈川県立生田	面接の観点に「将来の展望」を追加
神奈川県立吉田島	生活科学科を新設、5科、調査書の技術家庭は2倍の重点化、面接の観点は、「高校での教科・科目等に対する学習意欲」、「高校での教科・科目以外の活動に対する意欲」、「学校・学科等の特色理解」、「将来の展望」、「面接の態度」、第一次選考 内申：学力検査：面接＝5：3：2、第二次選考 学力検査：面接＝8：2→6：4
神奈川県立上溝	第一次選考 内申：学力検査：面接＝3：5：2→4：4：2
川崎市立幸	第二次選考 学力検査：面接＝8：2→6：4
神奈川県立希望ヶ丘	自己表現比重第一次・第二次選抜とも2→1
神奈川県立光陵	自己表現廃止
神奈川県立商工 (総合ビジネス)	面接の観点から「面接の態度」を削除
横浜市立桜丘	第一次選考 内申：学力検査：面接＝3：5：2→4：4：2
神奈川県立茅ヶ崎	面接の観点から「面接の態度」を削除
神奈川県立三浦初声 (都市農業)	第一次選考 内申：学力検査：面接＝4：4：2→3：4：3
神奈川県立百合丘	第一次選考 内申：学力検査：面接＝3：5：2→4：4：2、第二次選考 学力検査：面接＝8：2→7：3

学校名	変更点
神奈川県立横浜国際	国際バカロレアコースを新設 (IB機構の認定まではコース名は仮称)、5科・英語2倍の重点化、調査書の英語も2倍の重点化、特色検査は実技 (自分自身の考えについて口頭による英問英答) と自己表現 (資料提示による小論文型、ただし記述は「日本語や英語」とあり、英語での記述も入る) の両方実施、面接の観点は「学校・学科等の特色理解」と、その他として「入学希望の理由」、「中学校での教科等に対する学習意欲」、「中学3年間での教科等以外の活動に対する意欲」の3つ、第一次選考 内申：学力検査：面接：特色検査＝4：4：2：4・特色検査の実技と自己表現は2：2、少定員のため第二次選考はなし
神奈川県立横浜国際 (国際)	面接の観点到「入学希望の理由」、「中学校での教科等に対する学習意欲」、「中学3年間での教科等以外の活動に対する意欲」を追加
神奈川県立横浜栄	第二次選考学力検査：面接＝8：2→7：3
横浜市立横浜商業 (国際学)	第一次選考調査書の英語重点化1.5倍→2倍、学力検査英語重点化1.3倍→2倍、面接の観点から「将来の展望」と、その他の観定の「受験者の長所・特性」を削除
横浜市立横浜商業 (商業)	面接の観点から「将来の展望」を削除
横浜市立横浜商業 (スポーツマネジメント)	面接の観点から「将来の展望」を削除
神奈川県立横浜清陵	面接の観点から「学校・学科等の特色理解」削除
千葉県	
千葉県立泉	1・2期とも：志願理由書あり→なし (アクティブスクールなので1・2期)
千葉県立一宮商業	前期・面接→自己表現
千葉県立市原 (園芸)	前期・志願理由書あり→なし (統合校、昨年は鶴舞桜が丘・園芸)
千葉県立印旛明誠	後期・面接廃止
柏市立柏 (普通)	前期・面接＋適性検査→面接＋自己表現
習志野市立習志野 (普通・商業)	前期・志願理由書あり→なし
松戸市立松戸 (普通)	前期・面接＋自己表現→自己表現
千葉県立白井	前期・自己表現→面接
千葉県立我孫子東	福祉コース新設
千葉県立市川南	保育基礎コース新設
千葉県立市原	統合。校名は「千葉県立市原高等学校」。鶴舞桜が丘の園芸科は市原の園芸科となり、総合ビジネス科は募集停止
千葉県立鶴舞桜が丘	
千葉県立幕張総合	普通科を総合学科に転換、看護科は変更なし
千葉県立東金商業	前期・面接＋自己表現→自己表現
千葉県立流山南	前期・面接＋自己表現→自己表現
埼玉県	
埼玉県立岩槻 (普通)	2次選抜定員30%→27%、3次選抜新設3%、2次選抜調査書換算3倍720点→1.5倍360点、2次選抜合計1220点→860点

学校名	変更点
埼玉県立岩槻 (国際文化)	2次選抜調査書換算3倍720点→1.5倍360点、2次選抜合計1220点→860点
埼玉県立浦和東	面接廃止、1次選抜合計975点→950点、2次選抜合計1090点→1040点
埼玉県立桶川	調査書評定中1:中2:中3=1:2:3(270点)→1:1:3(225点)、調査書合計340点→295点、1次選抜調査書換算2倍680点→2.31倍680点、1次選抜合計1180点変わらず、2次選抜調査書換算0.65倍221点→0.75倍221点、2次選抜満点721点変わらず
埼玉県立春日部女子 (普通・外国語)	英数とも学校選択問題実施
埼玉県立川口	面接廃止、1次選抜合計880点→850点、2次選抜合計1130点→1100点
埼玉県立北本	2次選抜調査書1倍400点→1.1倍440点、2次選抜合計1000点→1040点
埼玉県立久喜	1次選抜定員70%→60%、2次選抜定員30%→40%、1次選抜調査書換算1.8倍450点→2倍500点、1次選抜合計950点→1000点
埼玉県立芸術総合 (舞台表現)	2次選抜調査書0.62倍215点→1倍345点、2次選抜合計915点→1045点
埼玉県立越谷南 (普通)	調査書その他15点→20点、調査書合計265→270点、1次選抜調査書換算1.26倍334点→1.24倍334点、1次選抜合計は変わらず、2次選抜調査書換算1.26倍334点→1.85倍500点、2次選抜合計834点→1000点
埼玉県立越谷南 (外国語)	調査書特別活動60点→70点、調査書合計270→280点、1次選抜調査書換算1.48倍400点→1.43倍400点、1次選抜合計は変わらず、2次選抜調査書換算1.48倍400点→2.14倍600点、2次選抜合計1000点→1200点
埼玉県立進修館	普通科募集停止、総合学科に統合
埼玉県立庄和	1次選抜定員60%→80%、2次選抜定員30%→15%、3次選抜定員10%→5%、1次選抜調査書換算1.4倍504点→1倍360点、1次選抜合計1054点→910点、2次選抜調査書換算2倍720点→3倍1080点、2次選抜合計1270点→1630点
さいたま市立浦和南	1次選抜定員80%→60%、2次選抜定員15%→35%、1次選抜調査書換算1.4倍350点→1.34倍335点、1次選抜合計850点→835点、2次選抜調査書換算1倍250点→0.86倍215点、2次選抜合計750点→715点
埼玉県立進修館 (全科)	1次選抜定員80%→70%、2次選抜定員20%→30%、1次選抜調査書換算1.25倍450点→1.8倍648点、1次選抜合計950点→1148点、2次選抜調査書換算1.4倍504点→1倍360点、2次選抜合計1004点→860点
埼玉県立杉戸農業 (全科)	2次選抜調査書1.25倍500点→1倍400点、2次選抜合計1100点→1000点
埼玉県立鶴ヶ島清風	調査書特別活動45点→50点、その他の項目25点→30点、調査書合計340点→350点、1次選抜合計890点→900点、2次選抜調査書1.76倍600点→2倍700点、2次選抜合計1200点→1300点
埼玉県立南稜 (外国語)	2次選抜調査書1.25倍400点→1.5倍480点、2次選抜合計1000点→1080点
埼玉県立新座	調査書評定中1:中2:中3=1:1:1(135点)→1:1:2(180点)、調査書特別活動40点→80点、その他の項目5点→20点、調査書合計200点→280点、1次選抜調査書換算2倍400点→1.4倍392点、1次選抜合計950点→942点、2次選抜調査書換算4倍800点→2.8倍784点、2次選抜満点1350点→1334点
埼玉県立新座柳瀬	2次選抜定員15%→20%、3次選抜5%廃止

学校名	変更点
埼玉県立鳩ヶ谷 (全科)	調査書評定中1:中2:中3=2:2:3 (315点) → 1:1:2 (180点)、調査書特別活動105点→55点、その他の項目30点→15点、調査書合計450点→250点、1次選抜調査書換算1倍450点→2倍500点、1次選抜合計1000点→1050点、2次選抜調査書換算0.8倍360点→1.6倍400点、2次選抜満点800点→940点
埼玉県立飯能南 (普通)	2次選抜調査書換算1倍515点→1.5倍773点、2次選抜合計1115点→1373点
埼玉県立松山 (普通)	調査書その他の項目10点→40点、調査書合計360→390点、1次選抜調査書換算0.93倍335点→0.86倍335点、1次選抜合計は変わらず、2次選抜調査書換算0.6倍216点→0.55倍215点、2次選抜合計716点→715点
埼玉県立松山 (理数)	調査書その他の項目10点→40点、調査書合計360→390点、1次選抜調査書換算1.3倍468点→1.2倍468点、1次選抜合計は変わらず、2次選抜調査書換算0.84倍302点→0.77倍300点、2次選抜合計1002点→1000点
埼玉県立寄居城北	面接廃止、調査書特別活動30点→40点、調査書その他の項目30点→35点、調査書合計285→300点、1次選抜調査書1.17倍334点→1.67倍500点、1次選抜合計934点→1000点、2次選抜調査書1.75倍500点→2倍600点、2次選抜合計1050点→1100点